Also available daily on the internet!!
http://qt.swim.org/user_dir/japanlife/user_print_web.php

Devotional Guide

ディーヴォガイド

Nagoya Glorious Chapel

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

Family Worship

セル　ガイド

①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあがめます。
②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合いましょう。
③ディボーションの分かち合いをします。
④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。 いつもの家族でいいのです。
①この１週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
②この１週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？） １つだけ。
③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

L T G Guide

2026.4.27-5.3

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

ＬＴＧ ガイド

①お互いへの感謝と誉めることを分かち合いましょう。（1～３つ）

②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。

③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）

④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

Nagoya Glorious Chapel

27日　月曜

詩篇

105:23 イスラエルもエジプトにやって来て
ヤコブはハムの地に寄留することになった。
105:24 主はご自分の民を大いに増やし彼らの
敵よりも強くされた。
105:25 主は人々の心を変えてご自分の民を憎
ませご自分のしもべたちを悪賢く扱うように
された。
105:26 主はそのしもべモーセとご自分が選ん
だアロンを遣わされた。
105:27 彼らは人々の間で主の数々のしるしを
行いハムの地でもろもろの奇跡を行った。
105:28 主は闇を送って暗くされた。人々は主
のことばに逆らわなかった。
105:29 主が彼らの水を血に変えられたのでそ
の魚は死んだ。
105:30 彼らの地には蛙が群がった。王族たち
の奥の間にまでも。
105:31 主が命じられるとあぶの群れが来てぶ
よが国中いたるところに湧いて出た。
105:32 主は雨に代えて雹を彼らに降らせ燃え
る火を彼らの地に下された。
105:33 主は彼らのぶどうの木といちじくの木
を打ち彼らの国の木々を砕かれた。
105:34 主が命じられるといなごが来た。若い
いなごがしかも無数に。
105:35 それが彼らの国の緑を食い尽くし彼ら
の大地の実りを食い尽くした。
105:36 主は彼らの国の長子をことごとく打た
れた。彼らのすべての力の初穂を。
105:37 主は銀と金を持たせて御民を導き出さ
れた。主の諸部族の中でよろける者は一人も
なかった。
105:38 エジプトは彼らが出て行ったとき喜ん
だ。エジプトに彼らへの恐れが下ったから
だ。
105:39 主は雲を広げて仕切りの幕とし夜に
は火を与えて照らされた。
105:40 民が願い求めると主はうずらをもた
らしまた天からのパンで彼らを満ち足らせ
た。
105:41 主が岩を開かれると水がほとばしり
川となって砂漠を流れた。
105:42 これらのことは主がそのしもべアブ
ラハムへの聖なることばを覚えておられた
からである。
105:43 主は御民を喜びのうちに導き出され
た。その選ばれた民を喜びの叫びのうちに。
105:44 主は彼らに国々の地を与えられた。
国々の民の労苦の実を彼らが受け継ぐため
に。
105:45 これは彼らが主のおきてを守りその
みおしえを保つためである。ハレルヤ。

主を賛美するような気分でないときもあります。またとてもそのような状況ではないと思えるときもあります。主に文句をいいたくなるときもあるでしょう。そのようなときは、むしろ賛美することで、目が開かれてくるものです。

ここでも、イスラエルの歴史を通して救いを与える主を賛美していますが、その苦難のときは賛美などできないような状況でした。しかし主は「ご自分の民を大いに増やし彼らの敵よりも強くされた。」のです。

主の救いと回復は必ず与えられます。ですから主のすばらしさと救いを賛美しつつ待ちましょう。もしかしたら主は、私たちがその信仰に立つまで待っておられるのかも知れないのです。

エジプトから逃れたイスラエルに、主は天からのパンを与えて養われました。そのみわざのゆえに主を賛美しています。

Bible Reference 聖書の記述

私たちも主のすばらしいみわざを思い出して賛美しましょう。もしもそれを思い出さないでいたとしたら、何と乏しい心になるでしょうか。主の良くしてくださったことを何１つ忘れないために、主の恵を、今日たたえましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

28日　火曜

詩篇

106:1 ハレルヤ。【主】に感謝せよ。主は
まことにいつくしみ深い。その恵みはとこし
えまで。
106:2 だれが【主】の大能のわざを告げ主の
誉れのすべてを語り聞かせることができよう。
106:3 幸いなことよさばきを守る人々いかな
るときにも正義を行う人は。
106:4 【主】よあなたが御民を受け入れてく
ださるときに私を心に留めあなたの御救いの
ときに私を顧みてください。
106:5 そのとき私はあなたに選ばれた者たち
の幸せを見あなたの国民の喜びを喜びとしあ
なたのゆずりの民とともに誇ることができま
す。
106:6 私たちは先祖と同じように罪を犯し不
義を行い悪を行ってきました。
106:7 私たちの先祖はエジプトであなたの奇
しいみわざを悟らずあなたの豊かな恵みを思
い出さずかえって海のほとり葦の海で逆らい
ました。
106:8 しかし主は御名のゆえに彼らを救われ
た。ご自分の力を知らせるために。
106:9 主が葦の海を叱ると海は干上がり主は
彼らに深みの底を歩かせられた。まるで荒野
を行くように。
106:10 主は憎む者の手から彼らを救い敵の手
から彼らを贖われた。
106:11 水は彼らの敵を包み彼らの一人さえも
残らなかった。
106:12 すると彼らはみことばを信じ主への賛
美を歌った。

７節には「私たちの先祖はエジプトであなたの奇しいみわざを悟らずあなたの豊かな恵みを思い出さずかえって海のほとり葦の海で逆らいました。」と罪が歌われています。本当の意味で神をたたえるためには、ます自らの罪を認めること必要だということです。

私たちも、主をたたえるときに、自分のかつての罪を赦されたことの感謝を明確にするために、そのことを思いましょう。主に感謝するための忍罪は恥ではありません。

Bible Reference 聖書の記述

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

29日　水曜

詩篇

106:13 しかし彼らはすぐにみわざを忘れ主
のさとしを待ち望まなかった。
106:14 彼らは荒野で激しい欲望にかられ荒れ
地で神を試みた。
106:15 そこで主は彼らにその欲するものを与
え彼らのいのちを衰えさせた。
106:16 彼らが宿営で【主】の聖徒モーセとア
ロンをねたんだとき
106:17 地は口を開けダタンを?み込みアビラ
ムの仲間を包んでしまった。
106:18 その仲間の間で火が燃え上がり炎が悪
者どもを焼き尽くした。
106:19 彼らはホレブで子牛を造り鋳物の像を
拝んだ。
106:20 こうして彼らは自分たちの神の栄光を
草を食らう雄牛の像と取り替えた。
106:21 彼らは自分たちの救い主である神を忘
れた。エジプトで大いなることをなさった方
を。
106:22 ハムの地で奇しいみわざを葦の海のほ
とりで恐るべきみわざを行われた方を。
106:23 それで神は「彼らを根絶やしにする」
と言われた。もし神に選ばれた人モーセが滅
ぼそうとする激しい憤りを収めていただくた
めに御前の破れに立たなかったならどうなっ
ていたことか。
106:24 しかも彼らは尊い地を蔑み神のみこと
ばを信じず
106:25 自分たちの天幕の中で不平を言い
【主】の御声を聞かなかった。
106:26 それで主は彼らにこう誓われた。彼ら
を荒野で打ち倒し
106:27 その子孫を国々の間に投げ散らし彼ら
を地にあまねくまき散らそうと。
106:28 彼らはまたバアル・ペオルとくびき
をともにし死者へのいけにえを食べた。
106:29 こうして自らの行いによって御怒り
を引き起こし彼らに主の罰が下った。
106:30 そのときピネハスが立ち仲立ちをし
たので主の罰は終わった。
106:31 このことは代々にわたり永遠に彼の
義と認められた。
106:32 彼らはメリバの水のほとりで主を怒
らせた。モーセは彼らのゆえにわざわいを
被った。
106:33 彼らが主の御霊に逆らったとき彼が
軽率なことを口にしたのである。

認罪の歌です。ここには欲望、ねたみ、偶像礼拝、つぶやき（不信仰の）、軽率などが書かれています。これらのことがもうないように、との思いもこの歌に込められたいます。

私たちもこれらがないかどうか、今、心を探ってみましょう。潜んでいた良くない思いに気づいたら、主に言い表してきよめていただきましょう。

Bible Reference
聖書の記述

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

30日　木曜

詩篇

106:34 彼らは【主】が命じられたのに諸国
の民を滅ぼさず
106:35 かえって異邦の民と交わりその習わし
に倣い
106:36 その偶像に仕えた。それが彼らにとっ
て罠となった。
106:37 彼らは自分たちの息子と娘を悪霊への
いけにえとして献げ
106:38 咎なき者の血を流した。彼らの息子や
娘たちの血それをカナンの偶像のいけにえと
した。こうしてその国土は血で汚された。
106:39 このように彼らはその行いによって自
分を汚しそのわざによって姦淫を犯した。
106:40 それで【主】の怒りは御民に向かって
燃え上がり主はご自分のゆずりの民を忌み嫌
われた。
106:41 主は彼らを国々の手に渡されたので彼
らを憎む者たちが彼らを支配した。
106:42 敵どもが彼らを虐げたので彼らは征服
され敵の手に下った。
106:43 主は幾たびとなく彼らを救い出された
が彼らは相謀って逆らい自分たちの不義の中
におぼれた。
106:44 それでも彼らの叫びを聞いたとき主は
彼らの苦しみに目を留められた。
106:45 主は彼らのためにご自分の契約を思い
起こし豊かな恵みにしたがって彼らをあわれ
まれた。
106:46 彼らを捕らえ移したすべての者たちか
ら彼らがあわれまれるようにしてくださった。
106:47 私たちの神【主】よ私たちをお救いく
ださい。国々から私たちを集めてください。
あなたの聖なる御名に感謝しあなたの誉れを
勝ち誇るために。
106:48 ほむべきかなイスラエルの神【主】。
とこしえからとこしえまで。民はみな
「アーメン」と言え。ハレルヤ。

　さらに、偶像に仕えること、子どもを悪霊と関わらせたことについて書かれています。これらは姦淫であると言い表されています。唯一愛するべきお方を捨てて、他のものに走ったからです。
　私たちも自分のことを省みる必要があります。邪教や偶像を拝むことはないでしょう。しかし、慣習や付き合いとして、偶像や悪霊と関わっていないかどうか、今一度よく考えてみましょう。
　もしもその点できよめられているなら感謝しましょう。これからも主の守りを願い祈りましょう。

Bible Reference 聖書の記述

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

1日　金曜

ルツ

1:1 さばきつかさが治めていたころ、この
地に飢饉が起こった。そのため、ユダのベツ
レヘム出身のある人が妻と二人の息子を連れ
てモアブの野へ行き、そこに滞在することに
した。
1:2 その人の名はエリメレク、妻の名はナオ
ミ、二人の息子の名はマフロンとキルヨンで、
ユダのベツレヘム出身のエフラテ人であった。
彼らはモアブの野へ行き、そこにとどまった。
1:3 するとナオミの夫エリメレクは死に、彼
女と二人の息子が後に残された。
1:4 二人の息子はモアブの女を妻に迎えた。
一人の名はオルパで、もう一人の名はルツで
あった。彼らは約十年の間そこに住んだ。
1:5 するとマフロンとキルヨンの二人もまた
死に、ナオミは二人の息子と夫に先立たれて、
後に残された。
1:6 ナオミは嫁たちと連れ立って、モアブの
野から帰ることにした。【主】がご自分の民
を顧みて、彼らにパンを下さった、とモアブ
の地で聞いたからである。
1:7 彼女は二人の嫁と一緒に、今まで住んで
いた場所を出て、ユダの地に戻るため帰途に
ついた。
1:8 ナオミは二人の嫁に言った。「あなたた
ちは、それぞれ自分の母の家に帰りなさい。
あなたたちが、亡くなった者たちと私にして
くれたように、【主】があなたたちに恵みを
施してくださいますように。
1:9 また、【主】が、あなたたちがそれぞれ、
新しい夫の家で安らかに暮らせるようにして
くださいますように。」そして二人に口づけ
したので、彼女たちは声をあげて泣いた。
1:10 二人はナオミに言った。「私たちは、
あなたの民のところへ一緒に戻ります。」
1:11 ナオミは言った。「帰りなさい、娘た
ち。なぜ私と一緒に行こうとするのですか。
私のお腹にまだ息子たちがいて、あなたた
ちの夫になるとでもいうのですか。
1:12 帰りなさい、娘たちよ。さあ行きなさ
い。私は年をとって、もう夫は持てません。
たとえ私が自分に望みがあると思い、今晩
にでも夫を持って、息子たちを産んだとし
ても、
1:13 だからといって、あなたたちは息子た
ちが大きくなるまで待つというのですか。
だからといって、夫を持たないままでいる
というのですか。娘たちよ、それはいけま
せん。それは、あなたたちよりも、私に
とってとても辛いことです。【主】の御手
が私に下ったのですから。」
1:14 彼女たちはまた声をあげて泣いた。オ
ルパは姑に別れの口づけをしたが、ルツは
彼女にすがりついた。

　ナオミは異邦人の地に住みました。これは神様が禁じておられることです。多くの人々が異邦の偶像の影響を受けたのです。それは異教の人々との結婚によってもたらされましたが、実際、ナオミの息子たちは異邦人と結婚してしまったのです。
　ですからナオミの夫と息子たちが死んだのは、この不従順の報いではないかと思われたことでしょう。しかし、神様にはその中にも、ナオミを通してすばらしいみわざをなしてくださいました。一つには、その子孫からイエス様が誕生したということです。イエス様の系図に異邦人もいたのです。これは救いがユダヤ人に留まらないということです。
　ルツはナオミから離れようとしませんでしたが、これはナオミの人柄のすばらしさを物語っています。このように慕われるなら、クリスチャンが伝道する力になることでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

2日　土曜

ルツ

1:15 ナオミは言った。「ご覧なさい。あな
たの弟嫁は、自分の民とその神々のところに
帰って行きました。あなたも弟嫁の後につい
て帰りなさい。」
1:16 ルツは言った。「お母様を捨て、別れて
帰るように、仕向けないでください。お母様
が行かれるところに私も行き、住まれるとこ
ろに私も住みます。あなたの民は私の民、あ
なたの神は私の神です。
1:17 あなたが死なれるところで私も死に、そ
こに葬られます。もし、死によってでも、私
があなたから離れるようなことがあったら、
【主】が幾重にも私を罰してくださるよう
に。」
1:18 ナオミは、ルツが自分と一緒に行こうと
固く決心しているのを見て、もうそれ以上は
言わなかった。
1:19 二人は旅をして、ベツレヘムに着いた。
彼女たちがベツレヘムに着くと、町中が二人
のことで騒ぎ出し、女たちは「まあ、ナオミ
ではありませんか」と言った。
1:20 ナオミは彼女たちに言った。「私をナオ
ミと呼ばないで、マラと呼んでください。全
能者が私を大きな苦しみにあわせたのですか
ら。
1:21 私は出て行くときは満ち足りていました
が、【主】は私を素手で帰されました。どう
して私をナオミと呼ぶのですか。【主】が私
を卑しくし、全能者が私を辛い目にあわせら
れたというのに。」
1:22 こうして、ナオミは帰って来た。モアブ
の野から戻った嫁、モアブの女ルツと一緒で
あった。ベツレヘムに着いたのは、大麦の刈
り入れが始まったころであった。

Bible Reference 聖書の記述

「あのたの神は私の神です。」と人に言ってもらえるなら伝道は進むでしょう。私たちの家族が救いからまだ遠いのは、もしかしたらこのような善い感化を与えていないからかもしれません。

ルツがナオミの信仰を慕ったのは、最も人生の辛いときであったというのも大切な内容です。きっと苦しみの中で明かにされた、ナオミの信仰を見たのでしょう。辛いときこそ大切です。またそういうときがチャンスでもあると信じ、神様を見上げましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

3日　日曜

ルツ

　2:1 さて、ナオミには、夫エリメレクの一
族に属する一人の有力な親戚がいた。その人
の名はボアズであった。
2:2 モアブの女ルツはナオミに言った。「畑
に行かせてください。そして、親切にしてく
れる人のうしろで落ち穂を拾い集めさせてく
ださい。」ナオミは「娘よ、行っておいで」
と言った。
2:3 ルツは出かけて行って、刈り入れをする
人たちの後について畑で落ち穂を拾い集めた。
それは、はからずもエリメレクの一族に属す
るボアズの畑であった。
2:4 ちょうどそのとき、ボアズがベツレヘム
からやって来て、刈る人たちに言った。
「【主】があなたがたとともにおられますよ
うに。」彼らは、「【主】があなたを祝福さ
れますように」と答えた。
2:5 ボアズは、刈る人たちの世話をしている
若い者に言った。「あれはだれの娘か。」
2:6 刈る人たちの世話をしている若い者は答
えた。「あれは、ナオミと一緒にモアブの野
から戻って来たモアブの娘です。
2:7 彼女は『刈る人たちの後について、束の
ところで落ち穂を拾い集めさせてください』
と言いました。ここに来て、朝から今までほ
とんど家で休みもせず、ずっと立ち働いてい
ます。」

Bible Reference 聖書の記述

　ルツは家計のために落穂ひろいを決心します。これは貧しい人のためで、落ちぶれた身であることが再確認されるような仕事でしたが、ルツは現実を受け入れつつ前向きでした。信仰にって肯定的な生き方をしましょう。

　主は親類であり、しかも人格的にすぐれたボアズのもとへと導いてくださいました。信仰によって主に頼りつつ一歩を踏み出せば、必ず道を開いてくださると信じましょう。

　ルツはナオミのために一生懸命働いたのですが、はからずもそれが人々に評価され、自分の評判を上げることになりました。愛のために一生懸命な人は評判を高め、評判のために一生懸命な人は、結局評判を落とすことを覚えましょう。主は人の心を見られるからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？